

国際言語文化科目

履修希望コース登録実施要項

対象者：2021年度入学生 文学部・経済学部・法学部・経営学部

目 次

	掲載ページ
国際言語文化科目授業科目表	2
国際言語文化科目の概要	4
[講義内容]	
国際言語文化科目	5
ドイツ語	6
フランス語	7
中国語	8
韓国語	9
英 語	10
国際言語文化科目修了証明書の発行について	11
履修希望コース登録実施要領	12

卒業に必要な単位として、「国際言語文化科目」または「基礎共通科目」のいずれかを選択して、履修することになっています。

この冊子の内容をよく読んで、<MyKONAN>でコース登録を行ってください。

コース登録期間：2021年6月25日(金) 9:00から

7月1日(木) 23:59まで



* ただし、留学のための英語集中コース履修者のうち、
英語インテンシブコースを希望する学生は、
6月11日(金)9:00～6月16日(水)23:59までに登録すること。

国際言語文化科目授業科目表

授 業 科 目			配 当 年 次	単 位	備 考		
A 国際文化コース							
国際文化科目	言語と文化Ⅰ	ドイツ	1	2	2単位以上選択必修 ただし、言語と文化Ⅰ・Ⅱは 第2外国語に対応する科目に 限る。	18 単 位 修 得 し な け れ ば な ら な い	
	言語と文化Ⅱ	ドイツ		2			
	言語と文化Ⅰ	フランス		2			
	言語と文化Ⅱ	フランス		2			
	言語と文化Ⅰ	中国		2			
	言語と文化Ⅱ	中国		2			
	言語と文化Ⅰ	韓国		2			
	言語と文化Ⅱ	韓国		2			
	国際理解A		1	2	2 単位以上選択必修		
	国際理解B			2			
	国際理解C			2			
	国際理解D			2			
外国語科目	中級ドイツ語Ⅰ		2	4	基礎外国語科目の単位を修 得した科目で、左記の科目の 中から4単位以上を選択必修		
	中級ドイツ語Ⅱ			4			
	中級ドイツ語Ⅲ			4			
	中級フランス語Ⅰ			4			
	中級フランス語Ⅱ			4			
	中級フランス語Ⅲ			4			
	中級中国語Ⅰ			4			
	中級中国語Ⅱ			4			
	中級中国語Ⅲ			4			
	中級韓国語Ⅰ			4			
	中級韓国語Ⅱ			4			
	中級韓国語Ⅲ			4			
導入 科目 共通	甲南大学と平生鈆三郎 共通基礎演習 I T 基礎		1	2 2 2	2 単位以上選択必修		
B 国際コミュニケーションコース							
国際文化科目	外国語総論（ヨーロッパ編）		1	2	2 単位以上選択必修 ただし、ドイツ語圏・フラン ス語圏・中国語圏・韓国語圏 でのコミュニケーション入 門は第2外国語に対応する科 目以外とする。	18 単 位 修 得 し な け れ ば な ら な い	
	外国語総論（アジア編）			2			
	ドイツ語圏でのコミュニケーション入門			2			
	フランス語圏でのコミュニケーション入門			2			
	中国語圏でのコミュニケーション入門			2			
	韓国語圏でのコミュニケーション入門			2			
	国際理解 English			2			
外国語科目	中級ドイツ語Ⅰ		2	4	基礎外国語科目の単位を修 得した科目で、左記の科目の 中から4単位以上を選択必修		
	中級ドイツ語Ⅱ			4			
	中級ドイツ語Ⅲ			4			
	中級フランス語Ⅰ			4			
	中級フランス語Ⅱ			4			
	中級フランス語Ⅲ			4			
	中級中国語Ⅰ			4			
	中級中国語Ⅱ			4			
	中級中国語Ⅲ			4			
	中級韓国語Ⅰ			4			
	中級韓国語Ⅱ			4			
	中級韓国語Ⅲ			4			
	中級英語 Speaking		2	4	4 単位以上選択必修		
	中級英語 Presentation			4			
	中級英語 Listening			4			
	中級英語 Writing			4			
		中級英語 Life TopicsⅠ		2			2
		中級英語 Life TopicsⅡ					2
援 留 科 学 目 支	English RegionsⅠ		1	2			
	English RegionsⅡ			2			
科 共 導 目 通 入	甲南大学と平生鈆三郎 共通基礎演習 I T 基礎		1	2 2 2	2 単位以上選択必修		

授 業 科 目		配 当 年 次	単 位	備 考	
C-1 ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語インテンシブコース					
国 際 文 化 科 目	国際理解 A 国際理解 B 国際理解 C 国際理解 D	1	2 2 2 2		18 単 位 修 得 し な け れ ば な ら な い
留 学 支 援 科 目	German Studies I French Studies I Chinese Studies I Korean Studies I	1	2 2 2 2	第 2 外国語科目に対応する科目に限る。	
	German Studies II French Studies II Chinese Studies II Korean Studies II	2	2 2 2 2		
外 国 語 科 目	中級ドイツ語 I 中級ドイツ語 II 中級ドイツ語 III 中級ドイツ語 IV 中級フランス語 I 中級フランス語 II 中級フランス語 III 中級フランス語 IV 中級中国語 I 中級中国語 II 中級中国語 III 中級中国語 IV 中級韓国語 I 中級韓国語 II 中級韓国語 III 中級韓国語 IV	2	4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	基礎外国語科目の単位を修得した科目で、左記の科目の中から 8 単位以上を選択必修	
通 導 科 入 目 共	甲南大学と平生鈆三郎 共通基礎演習 I T 基礎	1	2 2 2	2 単位以上選択必修	
C-2 英語インテンシブコース					
化 国 科 際 目 文	国際理解 English	1	2		18 単 位 修 得 し な け れ ば な ら な い
援 留 科 学 目 支	English Regions I English Regions II	1	2 2		
外 国 語 科 目	中級英語 Speaking 中級英語 Presentation 中級英語 Writing 中級英語 TOEFL 中級英語 Global Topics I 中級英語 Global Topics II 中級英語 Life Topics I 中級英語 Life Topics II 中級英語 Pronunciation	2	4 4 4 4 2 2 2 2 2		
通 導 科 入 目 共	甲南大学と平生鈆三郎 共通基礎演習 I T 基礎	1	2 2 2		

国際言語文化科目の概要

「国際言語文化科目」は、国際舞台で活躍できる人材育成のための科目である。外国語教育を通して国際理解・異文化理解を深め、「国際人」としての教養を高めるとともに、自己表現能力を養い、世界の人々と共生できる資質を育成することがこの科目の目的である。そのために、英語及び第2外国語の運用能力を養成し、また、その言語圏の文化、歴史、生活習慣、考え方、日本との関わりなどを学ぶことで、広い世界観を養うことを目指す。加えて、さらにもう一つの外国語を学び、その言語圏で適切にコミュニケーションを図るための方法を学んだり、外国語を学ぶのに有意義な知識（言語の歴史、言語学習に関する理論など）も取得できる。

国際言語文化科目には、「A 国際文化コース」、「B 国際コミュニケーションコース」、「C-1 ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語インテンシブコース」、「C-2 英語インテンシブコース」がある。以下、各コースの概要を示す。

A 国際文化コース

言葉の背景にある歴史や文化を学び、ものの考え方や行動様式も理解し、併せてグローバルな問題に目を向け、広い世界観を育む国際理解の態度を養うことを目的としている。併せて、1 年次で履修した第2外国語の学習を発展させる。

B 国際コミュニケーションコース

第2外国語の基礎的な言語運用能力を向上させるとともに、英語で自分の考えを発表する自己表現能力を養成する。世界の人々と積極的にコミュニケーションを図る能力を伸ばすため、さらに、もう一つの外国語を学び、その言語圏で適切にコミュニケーションを図るための方法を学んだり、外国語を学ぶのに有意義な知識（言語の歴史、言語学習に関する理論など）も得ることができる。

C-1 ドイツ語・フランス語・中国語・韓国語インテンシブコース

German/French/Chinese/Korean Studies や中級第2外国語科目を主として履修することで、集中的に言語を学ぶ。実践的な運用能力を伸ばし、資格取得なども射程に入れる。加えて、当該言語圏に関する知識や事情も併せて身につける総合的な学習を目指す。3 年次以降に上級科目の履修を希望する者や留学を目指す者にも適している。

C-2 英語インテンシブコース

中級英語科目、English Regions I・II および国際理解 English をまとめて履修することで、集中的に語学力を向上させる。実践的な運用能力を伸ばすとともに、語学習得に必須の教養・知識も併せて身につける総合的な学習を通して、資格取得なども射程に入れる。3 年次以降で英語の上級科目の履修を希望する者や留学を目指す者にも適している。

《言語共通》

国際理解 A

国際理解 A の講義では、国際社会が直面している「地球規模の課題」について理解を深め、国際的視野を涵養することを目指す。世界の時事問題に興味を持つ習慣を身につけ、情報収集能力・分析能力を養成しながら、グローバル化時代における日本の役割についても考える。具体的には、地球温暖化とエネルギー問題、グローバル化と食の問題、ヨーロッパと日本の「労働」に対する考え方の違い、民族的・宗教的・言語的・性的マイノリティの権利、多文化共生社会等のテーマについて、映像や資料を活用しながら理解を深めていく。双方向型授業を目指し、受講者の質問や意見発表等を重視するほか、受講者には、選択した国についてナレーション入りプレゼンテーションファイルを作成してもらって、良いプレゼンテーションをクラスで紹介する。最後に、学んだテーマに関連する課題 DVD（または課題図書）を 1 つ選んで鑑賞し、設問に回答する形式でのレポートを提出してもらう。

国際理解 B

国際理解 B では、前期アジアで活躍する種々の人材をゲストスピーカーとして招聘して、講義を行う予定である。今日のアジアは刻々と変化しつつあるので、アジアの視点が大事になってきている。アジアを理解することにより、日本のあるべき姿を明らかにして、アジア諸国との付き合い方を模索していく必要がある。そのための学習を、国際理解 B で行う。

国際理解 C

本授業は英語および日本語（バイリンガル授業）で実施される。本コースの目的はグローバル人材として物事を多様な観点から思考する能力を育成することである。国際理解の第一歩は、自分自身の文化も含め、さまざまな文化における価値観、偏見、慣例を内部者および外部者の視点から検証することである。国際理解の目的は、人類の共存のために、地球市民としての資質と自己教育力を高めることにある。21 世紀に直面する人類共通のグローバルな問題を学習し、国際理解に対する意識を高める。教員による双方向の講義とともに、受講生は選択したテーマを問題解決の方向で調査研究する。意見発表することで地球市民としての意識を深め、行動に結びつける。国際理解教育の原点は異文化理解と共に、自文化への理解と表象・発信である。国際理解教育の一環として、日本文化の心、日本のシステム、グローバル時代の日本の役割についても理解を深める。

国際理解 D

社会の各界で活躍するゲストスピーカーのそれぞれの専門領域に関する内容を取り上げ、グローバル化時代の国際関係や現状認識、そしてグローバリゼーションと日本社会という観点に立って問題意識を見つけ出し、グローバル化時代の理解を深めていく。つまり、ゲストスピーカーの講義を通して、日本や日本人という枠組みを超えた視点、グローバル化時代に通用するグローバルな視点を育むことを目標とする。授業は講義形式をとるが、質疑応答の時間を設けて学習者には質問や討論を通じて積極的に授業に加わるように指導し、授業の内容や講義に関する意見を書いて提出してもらう。

国際理解 English ★

This is a course about intercultural understanding and it is taught MOSTLY IN ENGLISH. In this class, students learn more about other cultures, Japanese culture, and about themselves. Students will develop and improve their English ability because the course integrates and strengthens all English skills through a variety of content-based academic activities.

外国語総論（ヨーロッパ編）

外国語を学ぶことの意義やその学び方、外国語学習の枠組みについての理解を深めることにより、大学在学中だけではなく、卒業後にも外国語を継続的に学ぶ能力を育成する。インド・ヨーロッパ語族に属する諸語の中で古代ギリシャ語・古代イタリア語・ラテン語の仕組みについて理解できる。さらに、現代のヨーロッパにおける外国語学習の共通の枠組み、およびその根底にある「人の学び」に対するアプローチの変遷を理解することができる。

外国語総論（アジア編）

外国語を学ぶことの意義やその学び方、外国語学習の枠組みについての理解を深めることにより、大学在学中だけではなく、卒業後にも外国語を継続的に学ぶ能力を育成する。3人の講師の講義をもって、日本語母語話者に中国語・韓国語に関する理解を深めさせ、日本語については、母語であっても、それを外国語として客観的に説明できる知識を身に付けることを目標とする。

《ドイツ語》

中級ドイツ語Ⅰ：リーディング ★ 様々なジャンルのドイツ語テキストの講読トレーニングを行う科目である。このために、「基礎ドイツ語」で学んだ文法知識を復習し、補完する。異文化理解の視点から興味深いテキストや時事的なテーマのテキストなどを講読することによって、筆者の意図を読み取る能力・思考力を養う。精読によってドイツ語の文構造の正確な把握を目指すと同時に、速読、大意把握等の練習も行う。

中級ドイツ語Ⅱ：コミュニケーション ★ ドイツ語を「話し」・「聞く」、実践的な運用能力を磨く科目である。この学習目標のために、原則、ドイツ語を母語とする教員の指導によるコミュニケーション的な学習環境の中で、相手の意向を理解し、基礎的なドイツ語で自分の考えを相手に伝えるトレーニングを行う。

中級ドイツ語Ⅲ：実用ドイツ語 ★ 基礎ドイツ語で学習した文法知識の補完、「読む」「書く」「聞く」の3技能の総合的な能力の養成を目指す。「ドイツ語技能検定試験（独検）」の3級または4級に合格するための実力もつける。さらに、実用的な手紙文の書き方の指導などにより、国際的なドイツ語検定試験合格のための基礎づくりも行う。

中級ドイツ語Ⅳ：ドイツ事情 ★ ドイツ語圏、主に現代ドイツの社会的・文化的な実情を学ぶ科目である。テキストやビデオ映像、インターネット情報などを活用しながら幅広く学習する。生きたドイツの実情に触れながら、多角的な視野からドイツ語圏の人々を理解し、その社会が抱える問題への洞察を深め、異文化理解を促す。また、日本の事情と対比することで、異文化だけでなく自文化についての理解も深める。

言語と文化Ⅰ ドイツ 「言語と文化 ドイツ」では、ドイツ語圏、主にドイツの人々に共通した考え方や価値観について理解を得させると同時に、そこにも個人差があること、さらにわれわれ日本人の考え方との相違の根底にある人間としての共通性にも気づかせる。

言語と文化Ⅰでは、主に「教育」をテーマとし、初等教育から高等教育までを扱い、ドイツの教育を日本の教育、さらに他の国々の教育事情と比較しながら多様な視点から学習する。多くの資料やビデオ、実物教材を使って、「学ぶ」とは何かを考える。

言語と文化Ⅱ ドイツ 言語と文化Ⅱでは、年度によって違った視角でドイツ語圏社会とその人々、そして日本とドイツ語圏の関係についてより深い考察を行う。2020年度（後期）は、個人や企業の経済活動から現代ドイツ語圏社会と日独関係を見る、というテーマを扱う予定である。

German Studies I ★ ドイツへの長期・短期留学および海外語学講座に興味を抱いている、意欲ある学生を対象に、ドイツ語の総合力を養成する科目である。ドイツでの留学生生活を社会的・言語的・文化的にスムーズに開始することができるよう、ドイツの都市・大学（機関）について基本的な知識を得ると同時に、そのための言語スキルとして、ヨーロッパ言語共通参照枠の **A1** の前半程度の運用能力を身につけることを目指す。

German Studies II ★ ドイツ語圏への長期・短期留学および海外語学講座に興味を抱いている、意欲ある学生を対象に、ドイツ語圏の社会や文化について、易しいドイツ語を用いて説明し、言語運用能力を伸長するとともに、留学の実現に向けた学習を支援する。そのための言語スキルとして、ヨーロッパ言語共通参照枠の **A1** 程度の運用能力を身につけることを目指す。

ドイツ語圏でのコミュニケーション入門 ★ 「第3外国語」として目標言語の基礎とその言語圏の文化について半期で学ぶ科目である。グローバル化社会の中での異文化間調整能力の養成を念頭におき、「第3外国語」においても、さまざまな場面で他の人々と「協働」できる基盤をつくる。その言語が用いられている国と地域について知るとともに、日常場面において目標言語を用いて、簡単なコミュニケーションができる力を養う。海外あるいは国内で遭遇する可能性があるシチュエーションを想定し、「挨拶、自己紹介、友人や家族の紹介、活動や趣味について語る、食べ物の好き嫌いを言う、レストランでのやり取り、スーパーやデパートでのやり取り、行き方を尋ねる etc.」といった場面で、目標言語を用いて簡単なコミュニケーションができるように学習する。また、上記の言語活動ができるように、初級文法を習得する。

《フ ラ ンス 語》

中級フランス語Ⅰ：リーディング ★ 「基礎フランス語Ⅰ」で学んだ文法知識を復習し、補完しながら、ゆっくりとフランス語の文章を読む。辞書の引き方に習熟することから始め、文の構造を正確に理解し、内容を把握する練習を行う。また、発音の矯正や簡単な作文練習も適宜行う。さまざまなジャンルのフランス語に触れることで、フランス語の読解力を総合的に養成する。

中級フランス語Ⅱ：コミュニケーション ★ 原則としてフランス語を母語とする教員の指導のもと、フランス語のコミュニケーション能力を養う。日常会話でよく用いられる表現の習得から始めるが、単に相手の問いに答えるだけでなく、自分の意見をフランス語で表現する「発信型」の学習を取り入れ、フランス語での自己表現能力を育成する。

中級フランス語Ⅲ：実用フランス語 ★ フランス語を「読む」「書く」「聞く」の3つの面から総合的に学習することにより、実用的なフランス語能力を養成する。「基礎フランス語Ⅰ」で習得した文法知識を復習しながら、文部科学省認定の「実用フランス語技能検定試験（仏検）」の4級または3級に合格するための実力をつける。また、インターネット上のフランス語情報の扱い方など、実生活で接するフランス語に対処する練習も行う。

中級フランス語Ⅳ：フランス事情 ★ フランスを中心としたフランス語圏の社会・文化的な背景を幅広い視野から理解するための一種の「教養科目」である。フランス語圏の社会状況についての知識を習得し、芸術（美術・音楽・映画）や食文化などへの関心を深めることを目指す。インターネットの情報やパワーポイント、ビデオ映像などを活用しながら、6人の担当者がテーマに沿って5回ずつ、（フランス語も交えながら）主として日本語で分かりやすく講義する。

言語と文化Ⅰ フランス フランスを中心としたヨーロッパの歴史とその背景をさまざまな観点から学ぶことを通して、現在のフランス、ひいてはヨーロッパについての理解を深めることを目指す。また、フランス語史も扱う。

言語と文化Ⅱ フランス 教育制度、結婚制度をはじめとするフランスの社会制度や労働事情について学び、移民や宗教の異なる住民との共生の問題を通してヨーロッパ型の福祉社会について考える。そして、映像や資料を活用して、フランス人の生活様式・生活習慣に注目し、フランス人のメンタリティーや価値観を探る。また、フランス以外のフランス語圏（カナダのケベック州やベルギーなど）についても知る。「フランス式小論文」の書き方を詳しく学ぶので、文章を組み立てるのが苦手な人にお勧めする。

French Studies I ★ フランス語を集中的に学習したい学生、フランス語の語学資格（仏検、DELF など）に興味がある学生、フランス語圏（フランス、カナダ・ケベック州）への留学、海外語学講座（夏期）に興味を抱く学生を対象に、フランス語圏の社会や文化について、易しいフランス語を用いた資料などを活用して言語運用能力を伸長するとともに、留学の実現に向けた学習を支援する。講義形式ではなく、全てアクティブ・ラーニング形式（グループワーク、グループ発表等）で授業を行う。iPad を活用する iCALL 教室を活用し、インターネット上のフランス語の情報を利用しながら、授業を展開する。

French Studies II ★ フランス語を集中的に学習したい学生、フランス語圏（フランス、カナダ・ケベック州）への留学、海外語学講座（夏期）に興味を抱く学生を対象に、フランス語圏の社会や文化について、易しいフランス語を用いた資料などを活用して言語運用能力を伸長するとともに、留学の実現に向けた学習を支援する。講義形式ではなく、全てアクティブ・ラーニング形式（グループワーク、グループ発表等）で授業を行う。フランス語の生の資料（authentic materials）等を教材として用いて、フランス語圏の事情、現地の話し言葉の特徴なども学習する。

フランス語圏でのコミュニケーション入門 ★ 初めてフランス語に接する学習者を対象として、フランス語の日常会話でよく用いられる表現、基本的な文法事項を習得する。フランス語圏（フランス、カナダ、ベルギー、スイスなど）での短期滞在に役立つように、また、フランス語を母語とする留学生と簡単なコミュニケーションができるように、日常生活の場面でのやり取りをペアやグループで実践する。

《中国語》

中級中国語Ⅰ：リーディング ★ 基礎中国語で身につけた語学力を応用しながら、現在実際に使われているさまざまなジャンルの中国語の文章を読むことを通して、生きた中国語に馴染み、文法や語彙を増やし、読解力と作文力を高めていく。中文和訳・和文中訳、日中両言語の表現の違いも学習する。学生が興味をもつジャンルの文章を優先的に取り上げるように心がけている。

中級中国語Ⅱ：コミュニケーション ★ 日常会話の練習からスタートし、基礎的な会話能力をマスターする。中国を取り巻く話題を中心に、テーマ別に会話練習や情景会話を行い、より実践的なコミュニケーション能力の開発・育成に努める。1年間の学習後、自由に自己表現ができ、中国人が話す日常会話を聞いて分かるようにする。

中級中国語Ⅲ：実用中国語 ★ 即戦能力と運用能力を高めるために、聴力、口頭表現力、読解力、文章表現力、翻訳・通訳力の5技能をバランスよく養成していく。資格取得やビジネスに生かせるよう徹底的に指導することにより、「中国語検定試験」の3級または4級、中国政府が主催する「漢語水平考試」の2級の合格に必要な実力をつける。すぐに役に立つ文章の書き方も習得する。

中級中国語Ⅳ：中国事情 ★ 主として日本語で講義を行う。日本人と中国人のものの見方、考え、衣食住、風俗習慣、家庭状況、教育問題、環境問題など幅広い分野にわたり、日本と中国の違いを明らかにすることを通して、中国語はもちろんのこと、中国文化ないし日本文化の習得もできるように工夫していく。中国の変化に注目しながら、自分の判断力による中国像を完成する。

言語と文化Ⅰ 中国 中国文化は日本文化に大きく影響を与えた。同じ漢字文化圏ではあるが、日中両国の社会制度や生活習慣はかなり異なっている。本講義では中国文化と日本文化との共通点と相違点に着目して、衣、食、住、民族問題、言語、大自然の風景、風俗習慣、人情、家庭、教育、思考方式、価値観など幅広い分野の日本人が関心をもつ問題を取り上げ、中国文化を学習していくと同時に、日中の相互理解を深めていく。

言語と文化Ⅱ 中国 中国文化は日本文化に大きく影響を与えた。同じ漢字文化圏ではあるが、日中両国の社会制度や生活習慣はかなり異なっている。本講義では中国文化と日本文化との共通点と相違点に着目して、衣、食、住、民族問題、言語、大自然の風景、風俗習慣、人情、家庭、教育、思考方式、価値観など幅広い分野の日本人が関心をもつ問題を取り上げ、中国文化を学習していくと同時に、日中の相互理解を深めていく。

Chinese StudiesⅠ ★ 中国語圏への留学を考えている学生を対象に、中国語の実践的運用能力を高めること、現地での異文化適応能力を高めることを目指す科目である。海外語学講座Ⅱの行先である北京郵電大学、交換留学先である北京郵電大学・厦門（アモイ）大学、台湾の東海大学・国立台北大学・国立聯合大学を想定し、日本語を介在させない中国語教育への橋渡しとしての授業、留学生活にスムーズに入ることができるようにする授業をおこなう。

Chinese StudiesⅡ ★ 中国語圏への留学を考えている学生を対象に、中国語の実践的運用能力を高めること、現地での異文化適応能力を高めることを目指す科目である。海外語学講座Ⅱの行先である北京郵電大学、交換留学先である北京郵電大学・厦門（アモイ）大学、台湾の東海大学・国立台北大学・国立聯合大学を想定し、日本語を介在させない中国語教育への橋渡しとしての授業、留学生活にスムーズに入ることができるようにする授業をおこなう。

中国語圏でのコミュニケーション入門 ★ 海外あるいは国内で遭遇する可能性があるシチュエーションを想定し、中国語を使って、挨拶、自己紹介、友人や家族の紹介、活動や趣味について語る、食べ物の好き嫌いを言う、レストランでのやり取り、スーパーやデパートでのやり取り、行き方を尋ねる、といった場面で、簡単なコミュニケーションができるように学習する。また、中国語の言語活動ができるように、中国語のしくみや初級文法を習得する。

《韓国語》

中級韓国語Ⅰ：リーディング ★ 「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」で学習した内容をもとにして、わかりやすいエッセイや新聞記事を読解する科目である。作文能力の向上を目指し、熟語と文型、そして単語の学習にも重点をおく。予習を前提にして学習者が自主的に読み進められるように指導する。また、学生自身が主体となってスピーチの原稿を書き、それをもとにスピーチコンテストを行う。

中級韓国語Ⅱ：コミュニケーション ★ 「基礎韓国語Ⅰ・Ⅱ」で学んだ文法や発音に基づいて、日常生活レベルの会話能力や聞き取り能力を養成する科目である。会話や聞き取りの能力を高めるために、会話パターンの練習や熟語を使った表現、視聴覚教材を用いた聞き取りのほか、書き取りの学習も並行する。また、学生が主体となって台本を作成し、これをベースに全員で寸劇を行う。

中級韓国語Ⅲ：実用韓国語 ★ 基礎韓国語で学習した内容をもとに、「話す」・「聞く」・「書く」・「読む」の各能力を総合的にバランスよく鍛える科目である。検定試験を想定した学習で、DVDやCDなどの教材を活用し、学生が積極的に学習に参加できるように進める。「ハングル能力検定試験」4級・「韓国語能力試験」1級以上の資格を獲得して就職活動に活用できるよう指導する。

中級韓国語Ⅳ：韓国事情 ★ 現在の韓国の政治・経済・文化について日韓比較文化の視点から相違点や共通点を見つけ、韓国社会と文化に対する理解を深める。日韓の間で起きている諸問題から音楽・映画・ドラマ・食文化など幅広い内容を取り上げて学習する。受講生にはテーマを選んで発表してもらい、全員で意見・感想を出し合いながら議論しフィードバックも行う。

言語と文化Ⅰ 韓国 韓国語と朝鮮語という名称の違いを明確に定義して、韓国語使用圏の環境、言語の歴史、ひいては前近代における日韓交流と、その狭間で言語を媒介にして活動した通事（通訳官）に着目して学習する。資料や史料の分析を通して、言語やそれに関する周辺事情を具体的に把握し、韓国語全般に関わる知識とその理解を深めることを目指す。

言語と文化Ⅱ 韓国 韓国人の意識や、価値観形成に強く影響を与えた儒教の伝来、定着過程、そしてその教えをはじめ、生活の営みの中で伝統的な色彩が色濃く残っている冠婚葬祭・年中行事・伝統芸能を取りあげて学習する。必要に応じて、音声・画像・映像教材を用い、伝統文化に関する具体性を提示して、正確な韓国文化の理解に結びつけることを目指す。

Korean StudiesⅠ ★ 韓国の大学へ留学及び海外語学講座に興味を抱く学生を対象に、韓国の大学教育、とりわけ大学入試をはじめとする大学の分布と格差、大学の学年歴、単位取得、専攻と副専攻、大学の施設、大学生の学内及び学外の生活、就職状況、大学周辺の環境、大学生の住まい、そして甲南大学との協定校の事情を取り上げて学習する。さらには韓国人の大学教育に対する認識、大学教育の位置づけの分析を通し韓国人の教育観に対する理解を深める。

Korean StudiesⅡ ★ 韓国の大学へ留学及び海外語学講座に興味を抱く学生を対象に、韓国の教育に関する理解を深めるため、前近代から今日に至るまでの韓国の教育機関、教育制度、教育内容、教育政策を取り上げて学習する。これらの変遷と特徴を時系列的に把握し、韓国社会に文治主義思想が生まれた要因、人材育成の構想、とりわけ高度成長期以降に見られる過熱した課外教育に対する打開策、そして在日コリアンの教育をも踏まえて教育史の観点で授業を展開する。

韓国語圏でのコミュニケーション入門 ★

海外あるいは国内で遭遇する可能性のある韓国語を用いるシチュエーションを想定し、簡単なコミュニケーション能力を養う。まずは文字の読み方及び辞書の引き方を学び、「挨拶、自己紹介、趣味、好きな料理、買い物、行き先の尋ね方、時刻の確認」といった場面で会話ができるように正確な表現を身につけ、文法も学習する。

《英 語》

中級英語 Speaking ★ This course continues to develop the skills acquired at the College English Speaking level. However, more emphasis is placed on improving students' ability to express ideas and opinions about a variety of topics.

中級英語 Presentation ★ This course aims to develop students' confidence in speaking in front of an audience and to improve their ability to organize and present a variety of types of speeches.

中級英語 Pronunciation ★ This course aims to develop students' English pronunciation ability. More emphasis is placed on acquiring a clear and intelligible pronunciation for international communication than on becoming a native-like speaker of English.

中級英語 Listening ★ This course develops the skills learned at the College English Listening level. However, more emphasis is placed on understanding spoken texts such as news reports, interviews, documentary reports, and dramas.

中級英語 Writing ★ The main purpose of this course is to develop students' ability to write various kinds of texts. Students begin by writing paragraphs, and then move on to short, multi-paragraph essays.

中級英語 TOEFL ★ The TOEFL course aims to prepare students for the Internet-Based Test of English as a Foreign Language (TOEFL iBT), an exam that is required of foreign students by many universities in English-speaking countries. The goal is to achieve a score of 61 or more.

中級英語 Global Topics I・II ★ Both of these courses aim to improve overall English ability while placing a special emphasis on critical thinking and familiarity with academic English. Students apply the four skills (reading, writing, speaking, and listening) in various combinations in order to meet the learning goals of the course content. The content addresses issues of global importance and allows for comparative analyses.

中級英語 Life Topics I・II ★ Both of these courses aim to improve overall English ability while placing a special emphasis on reflection and self-expression. Students apply the four skills (reading, writing, speaking, and listening) in various combinations in order to meet the learning goals of the course content. The content addresses humanistic themes and lifestyle issues that are meant to help students develop into benevolent, well-adjusted, and content individuals.

English Regions I・II ★ Both of these integrated skills courses aim to improve English ability and cross-cultural awareness while focusing on a specific country or region where English is either the mother tongue or official language. English Regions I courses are limited to the North American region. English Regions II courses tend to focus on UK, but other English-speaking regions are also possible.

◆国際言語文化科目修了の証明書の発行について

国際言語文化科目を履修し、所定の単位を修得した者には、卒業時に国際言語文化科目修了の証明書を発行する。

履修希望コース登録実施要領

卒業に必要な単位として、「国際言語文化科目」または「基礎共通科目」のいずれか1コースを選択して1年次後期より履修することになっています。

- ◆まず、「国際言語文化科目」「基礎共通科目」のいずれかを選択してください。
- ◆履修希望コースの選択にあたっては、この冊子および2021年度シラバスに記載の講義内容等を参考にしてください。
- ◆C-2英語インテンシブコース以外は、希望したコースを履修できます。C-2英語インテンシブコースだけは、定員枠を設けていますので、抽選で第2希望にまわることがあります。なお、「留学のための英語集中コース」の学生がC-2英語インテンシブコースの選択履修を希望した場合、優先的に登録を受け付けます。
- ◆希望コースの登録を登録期間内に行わなかった者の履修コースは、共通教育／国際言語文化センターが指定します。

-
- ① 登録方法 <My KONAN>で行ってください。
登録期間内であれば自由に変更が可能です。
- ② 登録期間 6月25日（金）9：00 ～ 7月1日（木）23：59 まで
*ただし、留学のための英語集中コース履修者のうち、英語インテンシブコースを希望する学生は、6月11日（金）9：00～6月16日（水）23：59に登録すること。
- ③ コースの発表 7月3日（土）<My KONAN>の『学生情報』メニューの「学籍・クラス・判定情報」より、カリキュラム学科組織を確認してください。
-



- ◆ 抽選の結果、一旦決定されたコースは変更できません。
履修希望登録に際しては、十分検討のうえ、慎重に行ってください。
- ◆ 登録に関して不明な点があれば、国際言語文化センター事務室（3号館1階）、または教務部（3号館1階）へ問い合わせてください。

国際言語文化センター「学習情報」へ

